情報を伝える　魅力が伝わる　十日町市をもっと好きになる

Public Relations
市報
とおかまち
No.219

2014
5/10
平成26年 5月10日号

特集

つなげよう「成長」のバトン
―全域で本格実施の小中一貫教育―
（2～5ページ）

主な内容

2 特集① 小中一貫教育が本格実施
6 特集② トオコンプラン「ス和ホ」商品化
8 特集③ 健康マイレージの紹介
ピックアップニュース
10 ●広報広聴係からのお知らせ
連載コーナー①
11 昭和のとおかまち／こへび隊・サポーター通信
12 タウントピックス
連載コーナー②
14 キラメキワーカーズ
15 お知らせ・ガイド
連載コーナー③
20 熱中・夢中／和顔愛語／イクメンカジダン
22 ジュニア芸術祭

特集 1

つなげよう「成長」のバトン

―全域で本格実施の小中一貫教育―

4月から、全中学校区で「小中一貫教育」が本格的に始まりました。この取組みでは、「9年間を通して子どもを育てる」ために、小・中学校が同じ目標や指導方針で一貫した教育活動を行います。

子どもの成長は、家庭から保育園・幼稚園、小・中学校へとつながっています。また、成長の過程では地域での学びも不可欠です。本特集では、子どもたちが「成長」するリレーでの、さまざまな立場の皆さんの声と、各中学校区での小中一貫教育の取組みを紹介します。

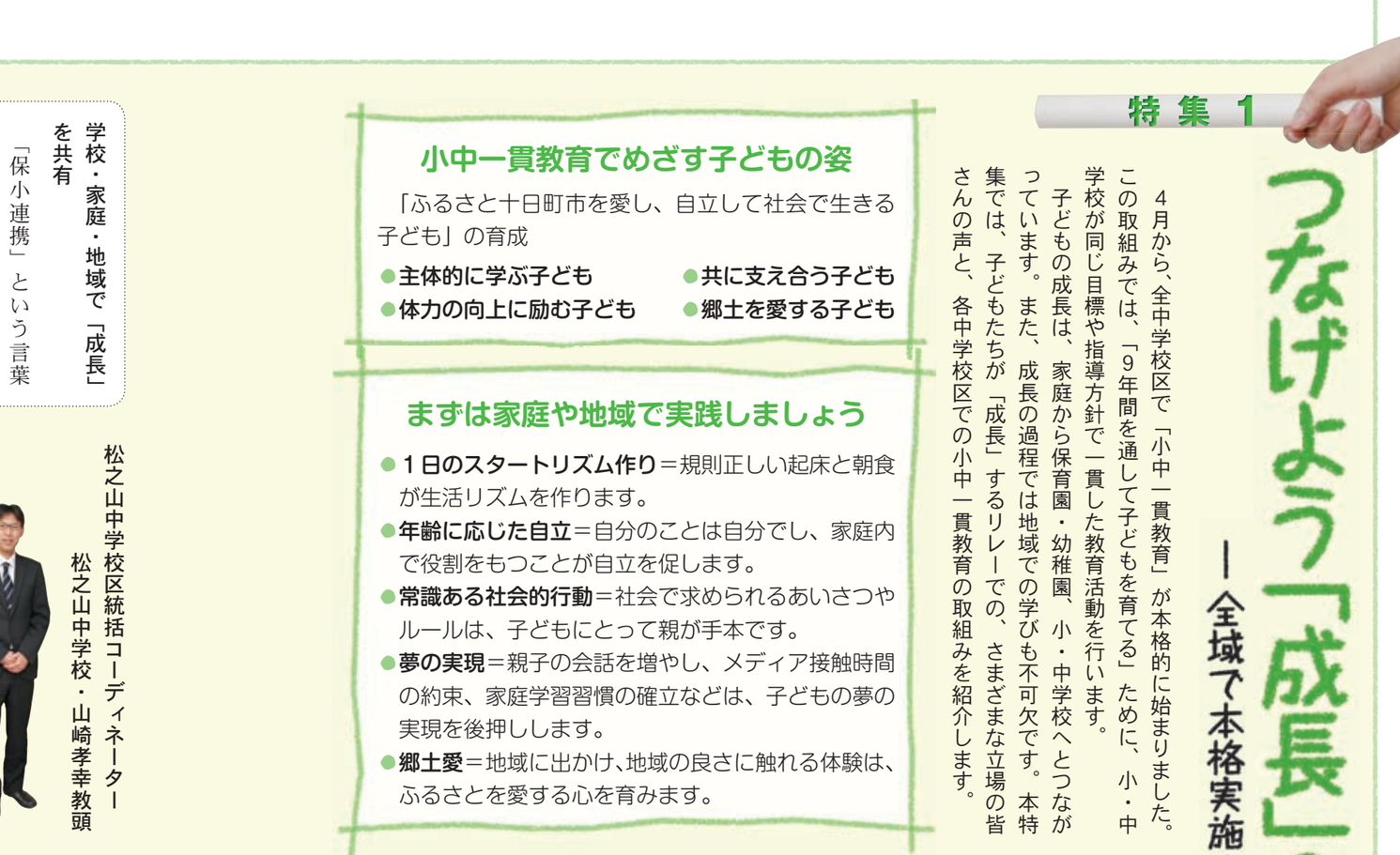
小中一貫教育でめざす子どもの姿

「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の育成

- **主体的に学ぶ子ども**
- **共に支え合う子ども**
- **体力の向上に励む子ども**
- **郷土を愛する子ども**

まずは家庭や地域で実践しましょう

- **1日のスタートリズム作り**＝規則正しい起床と朝食が生活リズムを作ります。
- **年齢に応じた自立**＝自分のことは自分でし、家庭内で役割をもつことが自立を促します。
- **常識ある社会的行動**＝社会で求められるあいさつやルールは、子どもにとって親が手本です。
- **夢の実現**＝親子の会話を増やし、メディア接触時間の約束、家庭学習習慣の確立などは、子どもの夢の実現を後押しします。
- **郷土愛**＝地域に出かけ、地域の良さに触れる体験は、ふるさとを愛する心を育みます。



家庭・地域でのあいさつや伝統継承が大切

現代の子どもたちは、遊び場が限定されたり、遊び方が変わってきたりして、人と接する場面が少なくなっているように感じます。なので、小中一貫教育では、小・中学生の間でかかわりを多く持つことでコミュニケーション力を高めてほしいです。また、学力の向上にも期待しています。家庭・地域では、あいさつ・声掛けが基本になります。また、地域特有の文化や伝統を教えるのも地域の役割だと思っています。これらは、小・中学生に限らず、小さい頃から大切なことですね。

十日町小学校PTA会長
羽鳥高史さん

柳智恵子さん
佐和ちゃん
（高田町1）

近所の皆さんからの子どもへの声掛けにいつもうれしく思っています。地域社会を大切にしながら子育てしたいです。

働く姿、あいさつなど子どもたちに見せたい

十日町市の産業は、文化の特徴である「きもの・農・雪」に合わせたものが多いですが、市内にはさまざまな企業があります。私たち地域の産業人が生き生きと働く姿を見てもらい、子どもたちが社会人になったときに戻ってくる場、利用してもらう企業でありたいですね。あいさつなどにしても、模範となる姿を見せたいです。

㈱フラワーホーム（中学生職場体験受け入れ事業所）
会長　藤田真実さん

「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」を共に育てましょう

十日町市の3つの教育課題である「不登校の減少」「学力の向上」「特別支援教育の充実」に立ち向かう新しい柱が小中一貫教育の取組みです。平成26年度は、基本的生活習慣を啓発する「はぐくみのまちづくり運動」や、自律的な学習習慣を促す「放課後寺子屋塾事業」など、学校現場以外の取組みもさらに充実させ、皆さんと共に「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」を育成します。

教育長　蔵品泰治

4～5ページでは、各学校区の特色ある取組みを紹介します

学校・家庭・地域で「成長」を共有

「保小連携」という言葉があるとおり、子どもたちが小学校へ入学するときには、保育園から一人ひとりの健康状態・人間関係・家庭環境などの情報を引き継ぎます。このことで、先生たちは子どもたちの状況を把握した上で向かい合うことができます。

小中一貫教育では、シンプル・シェア・ビジュアルを大切にして小・中学校の先生が一丸となって取り組んでいます。校内や小・中学校間だけでなく、家庭や地域とも、取組みや子どもの成長をシェアするため、シンプルで分かりやすく、効果的な情報発信に努めています。

小中一貫教育コーディネーター
田沢小学校・栗林育夫教諭

社会での自立をめざす教育を

中学校は、高校・社会に向けて、生活リズム・応対・断ることも含めた判断・意見を伝えるなど、社会で生きるための自立する力を身に付ける時期です。

中学生の学校生活は、同級生などと自分を比較することが多く、自分に自信を持てなくなるケースも少なくありません。小中一貫教育では、小学生と接する中で、今まで身に付けていた力・知恵・経験を与えることができます。そのことで自分の力を確かめることができ、自尊心を作り上げることができます。

松之山中学校区統括コーディネーター
松之山中学校・山崎孝幸教頭

■問合せ＝教育委員会学校教育課
☎757―9957

十日町市の小中一貫教育（共通の取組み）

- 現在の学校施設のままで、目標や指導方針などを同じくして、「一貫教育」を実施します。
- 全中学校区で小中一貫教育のグランドデザインを策定し、「めざす子どもの姿」を明らかにして推進します。
- 全中学校区で「推進会議」を組織し、取組みを見直し、改善しながら進めます。
- 全市小中学校で小中一貫教育のコーディネーターを指定し、推進の充実を目指します。
- 全中学校区で「３つの指導計画」を持って取り組みます。

３つの指導計画
①教科に関する指導計画
②不登校対策等を含めた心の教育に関する指導計画
③「総合的な学習の時間」に関する指導計画

十日町・中条中学校区
十日町小・中条小・東小・飛渡第一小・十日町中・中条中

❶「知育」（家庭学習強調旬間）
子どもの学力向上のため、家庭と連携し、年２回10月と１月に家庭学習向上の取組みを行います。

❷「徳育」（家読運動・あいさつ運動）
・「家族の絆をつくる」「読書に対する意識を高める」ため、毎月第３日曜日を家読の日、夏休み・冬休みを家読強調旬間として読書の習慣をつくります
・中学生が出身小学校に行き、小学生とさわやかなあいさつで、あいさつの輪を広げます

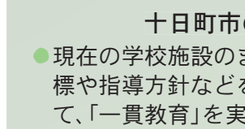
❸「体育」（元気生活１・２・３、陸上教室）
・元気生活「１・２・３」を実施します
①登校する１時間前には起きよう
②メディアは２時間以内
③朝食に主食・主菜・副菜の３品食べよう
・夏休み陸上教室のほか、体力向上に向けた取組を行います

南中学校区
川治小・西小・南中

❶学習意欲の向上と基礎・基本の定着に向けて
1 分かる授業の展開
「学びの道筋が分かる板書づくり」をテーマに授業改善を計画的に行います。
2 学習規律の指導
「授業マナー３か条」を設定し、その定着に向けて、一貫した指導を行います。

❷認め合い支え合う人間関係の構築に向けて
1 友達関係スキルの獲得
「心の教育計画」に基づいて、人間関係の基盤となる友達関係スキルの獲得をめざします。
2 交流活動の充実
豊かな心情の育成を目指し、小小交流（５・６年）、小中交流（体験入学、行事、部活動交流）を充実します。

❸生活習慣の確立に向けて
早ね・早おき・朝ごはん、メディアコントロールに焦点を当て、小中学校・保護者・地域が連携し、基本的な生活習慣の確立をめざします。



吉田中学校区
吉田小・鐙島小・吉田中

❶「吉田パワーアップ作戦」の実施
生活習慣改善に向けて、「早ね・早おき・朝ごはん・メディアコントロール」について共通の目標を定め具体的な取組みを進めます。地区全体の健康度アップをめざします。

❷「吉田の家庭学習５か条」の活用
小中９年間、家族の協力を得ながら家庭学習を進めることができるよう「吉田の家庭学習５か条」を活用して、家庭学習の充実を図ります。

❸「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実
小学校５・６年生と中学生が一堂に会し、「いじめを防ぐためには」「いじめを見つけたら」などについて話し合い、「いじめ見逃しゼロ」をめざします。

下条中学校区
下条小・下条中

❶まなび（知育）～学力向上に向けた取組み～
◎授業交流・授業研究の日常化
・ＮＲＴテスト等の分析と一体的対策

❷こころ（徳育）～望ましい人間関係づくりに向けた取組み～
◎各種交流活動の日常化
◎人権教育・同和教育の一体的推進
・「心の教育に関する指導計画」の改善と合同職員研修の充実

❸からだ（体育）～目標実現できる体力づくり～
◎９年間を通した目標設定
・発達段階に応じた持久力の向上
・部活動等の日常的交流の推進

❹せいかつ～基本的生活習慣の育成～
◎望ましい生活習慣の自己管理
・「早ね・早おき・朝ごはん」と「電子メディアコントロールを目的とした」「下条エコメディア運動」の推進
・学校保健委員会の合同実施

水沢中学校区
水沢小・馬場小・水沢中

「知」「徳」「体」の３つの視点から、小・中の円滑な接続ができる連携・交流活動を進めています。

❶「めざす子どもの姿」の共有と具現化
学習規律と家庭学習の面から『めざす子どもの姿』を共有し、小・中学校で「分かる授業・できる授業」づくりを進めています。

❷「いじめ見逃しゼロ」運動の活動交流
中学校の生徒会役員が小学校に出かけ、いじめについて一緒に考える活動をしています。５・６年生は劇を見た後、「いじめ」について共に考える道徳の交流授業を行います。

❸小・中合同「元気アップ週間」の実施
「起床時刻」「朝食」「メディアコントロール」「就寝時刻」の４つを『元気アップカード』の共通項目としています。小・中同じ時期に『元気アップ週間』を設け、小中合同の保健だよりを発行しています。

川西中学校区
千手小・上野小・橘小・川西中

❶学力向上
小中で互いに授業公開し合うなど、分かる授業づくりを推進します。また、家庭学習強調週間で、学習内容の定着を図ります。

❷人間関係づくり
小中９年間の見通しをもった人間関係づくりを推進します。
・自然体験学習
・なかよし集会
・いじめ見逃しゼロ集会など

❸健康・体力向上
メディアコントロールやＳＡＱ（敏捷性）トレーニング、各種スポーツ大会への積極的な参加により、児童・生徒の健康増進と体力向上に努めています。

中里中学校区
田沢小・倉俣小・貝野小・中里中

❶小中交流
集合学習（小１～４年）、中学校部活動見学（小５）、中学校体験入学（小６）、合同陸上練習会（小５・６年）、お互いの運動会・体育祭や文化祭で交流の場を設け、人間関係づくりを支援します。

❷学力向上
小学生の中学校での授業体験や、「学びナビ」により、９年間で学習方法を身に付けられるよう支援します。

❸チャレンジウィーク
小・中学校一斉に年３回程度、「チャレンジウィーク」を実施します。生活のリズム（起床・就寝時刻、メディア時間など）や、家庭学習時間などの目標を設定し、生活習慣の定着を図ります。

松代中学校区
松代小・松代中

❶考え、交流し、納得する授業を目指します
・聞き方・話し方を身に付けます
・何を学ぶかはっきり示します
・考えをノートに書きます
・小集団で考えを検討します
・全体でまとめをします
・読書で語彙を増やします

❷優しさ、思いやりを持ち、我慢強く困難を乗り越えるしなやかな心を育成します
・アンケートなどで子どもの心の状態を見取り、適切に対応します
・小中で子どもの情報交換を丁寧に行い、９年間を通じた心の育成に努めます
・行事や体験入学で交流し、中１ギャップを解消します

❸バランスよく心身を鍛え、継続して運動する子どもを育成します
・体力テストの結果を分析し、課題解決に取り組みます
・小学校の課外活動と中学校の部活動で交流します
・すこやかウィークの取組みで生活習慣を見直します

松之山中学校区
松之山小・松之山中

❶陸上部員が小学生の競技指導：リトルティーチャーが活躍！
小学５・６年生が、中学校の陸上競技部と共に中学校の体育教師・陸上部顧問から指導を受けます。郡市親善陸上大会前の練習と交流の良い機会とします。

❷スムーズな移行を図る小中交流集会・合同授業：児童生徒の関わり合う喜びを体得
中学校体験入学で合同授業による中学生のリーダーシップの発揮、仲間づくり・絆づくりにつながる縦割りレクリエーションをします。これらの取組みで中学校入学時の不安の軽減につなげていきます。

❸松之山いきいき大作戦：合同学校保健委員会の実施
小・中学生でグループを編成し、健康上の課題についての話し合いを行います。保護者や教職員グループも編成し、親の立場としての意見を交えながら進めます。

特集2 地元高校生

私たちの提案が商品になりました！

― トオコンプランの実現 ―

高校生による十日町市活性化への熱い思い

■問合せ＝産業政策課産業企画係☎757-3139

地元高校生の、市を活性化させるための提案「十日町の着物を使ったスマホ（スマートフォン）カバー『ス和ホ』」が商品化され、4月7日から販売開始となりました。これは、昨年度開催された十日町市ビジネスコンテスト「トオコンseason4」での、十日町高等学校生徒の提案が事業化されたものです。

提案したのは十日町高等学校2年生（当時）6人。政治・経済の授業の一環で取り組んだ「チャレンジ！トオコン、十日町へ行こう！（通称：チャレコン）」での最優秀プランとしてトオコン本選会で発表された提案を、㈱きはだや（本町2）が、iPhone用として商品化しました。6人は、生地選び・ロゴデザイン案作成など商品になるまでの過程にも参加。出来上がった商品は市への思いが込められたものになりました。

トオコン（十日町市ビジネスコンテスト）とは

県内外の大学生が、市の良さや強みを生かした資源や技術を再発掘し、若者ならではのアイデアを競い合うビジネスコンテストで、今年度で5回目を迎えます。最終的には提案されたビジネスプランと市内事業者とのマッチング（事業化）を目指し、今までに6つのプランが事業化されました。

富井 愛斗さん
児玉 怜美さん
丸山 遥香さん
上村 侑さん
春日 薫穂さん
関 将志さん

商品を通じて「十日町市の着物」に興味を持ってほしい

「十日町市の着物」は誇れるものですが、日常の生活からは離れています。そこで、スマートフォンのカバーにすれば身近になると考え、十日町市の着物生地を使ったスマホカバー「ス和ホ」を提案しました。実際の商品を見て、その出来上がりや商品化されたことに改めて驚きましたし、とてもうれしいです。この商品を手に取った皆さんが「和」を感じ、「十日町市の着物」に興味を持ってもらえたらうれしいです。

商品化されるまで

1 プレゼン

十日町高等学校2学年の文系5クラス、約200人、30チームの中から最優秀賞に選ばれ、トオコン本選会で発表。新潟・東京の予選会で勝ち上がった県内外の大学生6チームと同様に堂々とプレゼンテーションを行い、見事に審査員特別賞を受賞しました。

2 生地選び

カバーに使用する着物の生地を自ら選びました。約100点ある中から、自分たちのセンスをもとに「これは売れそう！」など顧客の視点も大事にしながら選定。若い女性を意識し、かわいい色使いのものを中心に選びました。

3 ロゴ作成

外装ケースに使用するロゴマークを3案考え、その中の1つをさらに業者からデザイン化してもらい完成しました。デザインしたロゴには十日町市のイメージを凝縮させました。外装ケースには、このロゴと併せて商品に対する思いも記載されています。

ス和ホ販売場所

道の駅クロステン、道の駅まつだいふるさと会館、新潟空港売店、ソフトバンク十日町店・イオン小千谷店・六日町駅前店・上越謙信公大通り店

新潟県立十日町高等学校教諭
丸山玲奈さん

生徒に商品開発を体験させたいとの思いから、トオコンを授業に取り入れました。この機会を通じて生徒自身が住んでいる地域の良さを再発見してくれればと思います。

㈱きはだや代表取締役
関口憲太さん

高校生との商品化までの共同作業は普段、着物を扱う立場の私とは全く視点が異なり、新鮮なものでした。この商品が着物を身近に感じてもらえる一つの切り口になればと思っています。

特集3

健康づくりで得する！ってホント？

―健康マイレージで「受けて、参加して、得しちゃおう」―

■問合せ＝健康支援課成人保健係☎757―9764

今年も▼とおかまち健康マイレージが始まります

働き盛りの皆さんは、自分の健康と向き合う時間が取れない人も少なくありません。でも、健康を維持するためには健診を受けたり、食事や運動などの生活習慣を見直したりするなど、普段からの意識と行動が必要です。

そこで、昨年から働き盛りの皆さんに健康づくりへの関心を高めてもらうため、「とおかまち健康マイレージ」を実施しています。楽しみながら健康づくりに取り組みませんか。

▼みんなで健康になろう!!

―実践者の声―

昨年は1810通もの応募があり、その中から抽選で100人にお食事券が贈呈されました。応募カードには、「健診の結果が気になり、歩き始めた」「腹八分目にしている」など、食事や運動で日ごろから実践していることや心掛けていることがたくさん記入されていました。そんな健康づくりに取り組んでいる皆さんの声を紹介します。

やりたいことを続けるためには体力が必要です

40代で受けた健康診断で、貧血の指摘を受けたことをきっかけに、保健師から勧められプールを始めました。その後、週3回のプール通いで貧血も改善しました。通っていなければ、体力がもっと落ちていたと思います。

夫は病気をきっかけに健康を見直し、大好きなスキューバダイビングを続けるため、総合体育館に通って運動をしています。私も、夫から誕生日プレゼントに総合体育館の年間利用券をもらい、週に1回はそこで運動しています。

健康マイレージでお食事券が当たったのは普段のがんばりへのごほうびだと思っています。これからも体力づくりを続けていきたいと思います。

家庭で

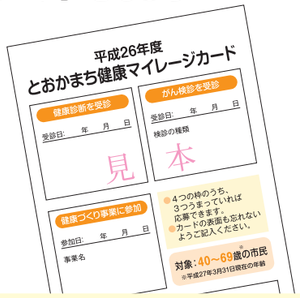
丸山とみ子さん
（61歳・千手上町、写真左）

仲間との運動も楽しいですよ

さあチャレンジ

受けて、参加して得する3つの手順

1 「とおかまち健康マイレージカード」をもらう



- 対象＝40～69歳の市民
- 応募期間＝平成27年3月31日㈫まで
  ※当日消印有効
- 設置場所＝市役所本庁・各支所・市の健診会場など※カードは、「とおかまち健康マイレージ」のチラシに付いています

2 ポイントを獲得する

次の4つの中から、3つ達成してください。

1 健康診断を受診
市の健診・職場健診・人間ドック

2 がん検診を受診
市のがん検診・市の骨密度検診・職場検診・人間ドック

3 健康づくりイベント・教室などに参加
ウォーキングイベント・健康教室・講演会など（対象事業は、チラシなどで随時お知らせします）

4 健康づくりの目標を立てる
塩分を控える、毎日体重を計る、ウォーキング20分、禁煙するなど（既に実践している取組みでもかまいません）

抽選で200人！

お食事券をプレゼント♪

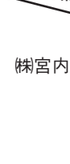
抽選で200人に、健康づくり支援店(※)で利用できるお食事券3,000円分を贈呈します。発表は、平成27年4月下旬に、当選者のみ通知します。

※健康づくりの支援店として県が指定した店

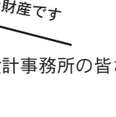
ドキドキ

3 応募する

マイレージカードを郵送または応募箱に投函してください。



または



応募箱は、本庁・各支所に設置してあります

ワクワク

会社と従業員が一体となって健康管理に取り組むことが、会社の発展につながります

従業員の平均年齢が高くなり、健康診断で指摘される人も多いことから、4年前に「健康管理対策フロー図」を作成し、併せて会社で医師による健康相談日を設け、従業員の健康管理に取り組んでいます。また、健康管理について根気よく声をかけたり、さまざまな企画を練ったりしています。「健康マイレージ」は、手軽に健康づくりに参加できるので、自分の健康に関心を持つ良いきっかけになると思い、朝礼で従業員に周知し、応募用紙を休憩室に設置しました。

最近では、職場検診後の再検査の受診率が上昇する、自ら健康指導を受ける人が出てくるなど、少しずつ従業員の意識も良い方向に変わってきています。

企業の健康管理は会社と従業員一体の取組みがなければ良い結果につながりません。従業員が健康でなければ会社としても成り立ちませんので、一人ひとりが元気に働くことができるよう、今後も健康管理に努めていきたいです。

職場で

人材は人財！
従業員は会社の財産です

㈱宮内測量設計事務所の皆さん

昭和のとおかまち

No.61

■撮影時期：昭和51年９月28日
■撮影場所：千手小学校

交通安全運動の一環で、県警航空隊のヘリコプター「こしかぜ」が子どもたちへの交通安全啓発のためにやってきました。心待ちにしていた子どもたちの視線は釘づけに。間近で見るために列をなしてわくわくしながら順番を待っています。

こしかぜ号きたる

■問合せ：川西支所地域振興課☎768-4951

大地の芸術祭の里
こへび隊・サポーター通信 ❷

人のやさしさが越後妻有の一番の魅力

テレザ・ジーランドさん（25歳・ドイツ出身・デュッセルドルフ大学在学中）

▼こへび隊に参加したきっかけは？

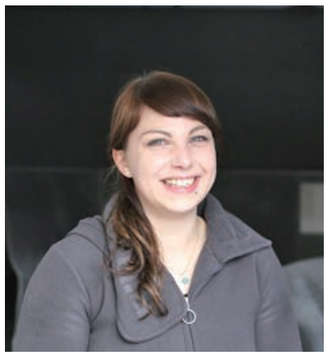
―大学でアートと地域づくりに関する論文を書くにあたって先生から「大地の芸術祭」を紹介してもらいました。地域づくりにアートを使うという新しいアプローチに大変興味を持ち、「こへび隊」にも参加したいと思いました。

▼越後妻有の魅力とは？

―景色や食べ物も魅力ですが、一番素晴らしいのは人のやさしさだと思います。越後妻有の皆さんは、私のような外国人もやさしく受け入れてくれました。

▼活動をしてみての感想

―地元の人・アーティスト・都会の若者など、さまざまな地域や世代の人が交流できることが本当に素晴らしいです。どちらが偉いというわけではなく、それぞれが互いの持っている技術や知識を学び合うことができていると感じました。



▼これから「こへび隊」や「地元サポーター」になる人へ一言

―お客さんとしても大地の芸術祭を楽しめますが、サポーターとして参加することで、この地域の魅力が深く分かります。地元の人も、アートに興味がなくても大丈夫です。活動を通して、地域の魅力を知るきっかけになり、地元にもっと自信が持てると思います。ぜひ、こへび隊や地元サポーターに参加してみてください。

Pick Up 企画政策課広報広聴係からのお知らせ

広聴の場、情報発信の冊子をぜひご利用ください

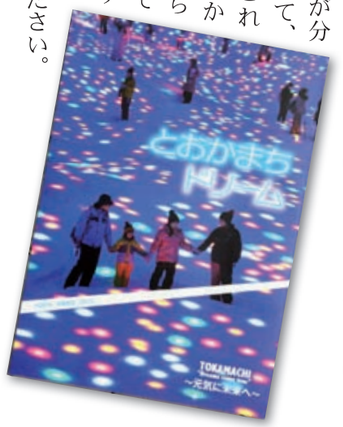
●●●●●問合せ：企画政策課広報広聴係☎757-3112

サタデー市長室 ～まちづくりを話しませんか～

日５月24日㈯・６月28日㈯・７月26日㈯・８月23日㈯・９月27日㈯※市長公務の都合などで実施できないときがあります
会市長室または応接室（本庁舎内）
対市内に所在地がある団体※個人では申し込みできません。「市長への便り」をご利用ください
●**対話時間**＝午前９時～11時（１組50分以内）
●**受け付け**＝実施日ごとに先着２組
定10人以内
内市政に関する意見や提言について対話します※要望や市の制度に関する質問など、内容によっては担当課で対応することがあります
●**出席者**＝市長ほか関係職員
〆各実施日の５日前
他市長が地域におじゃまして対話する「ふれあいトーク」もご利用ください
申団体名・氏名・年齢・住所・電話番号・話し合いたい内容などを明記の上、市ホームページからの電子申請・電子メール（koho@city.tokamachi.lg.jp）・ＦＡＸ・郵送のいずれかで、〒９４８―８５０１千歳町３―２―４６３５）企画政策課広報広聴係（☎７５７―３１１２・Ｆ７５２―４６３５）

市勢要覧をご活用ください

このたび、市勢要覧「とおかまちドリーム」を発行しました。これは、市のまちづくりの施策や思いが分かる内容になっていて、まちづくりに尽力されている市民の皆さんからも多数登場してもらいながらお伝えしています。市を紹介する機会がありましたら、ぜひ利用してください。



¥５００円
●**取り扱い場所**＝企画政策課・各支所地域振興課

「市報とおかまち」が全国広報コンクールで２席に入賞しました

平成26年全国広報コンクール（主催：㈳日本広報協会）で、「市報とおかまち」11月10日号が広報紙（市部）において、特選、１席に次ぐ２席に入賞しました。県からの同コンクールでの入賞は３年ぶり、市では、中越大震災記録集「あしたへ」が広報企画で入選した平成20年以来の入賞となりました。これからも情報を分かりやすく伝え、市の魅力が伝わる市報づくりに取り組みます。市報へのご意見・ご感想があれば気軽にお寄せください。

平成25年11月10日号

まちの話題 タウントピックス TOWN TOPICS

世界の大会で堂々の銅メダル

３月19日(水)～ 22日(土)：エストニア・タリン

村越裕太郎さん（22歳・野口）が、2014INASスキー世界選手権大会（主催：国際知的障害者スポーツ連盟）のクロスカントリー 10㎞クラシカルで、３位という輝かしい成績を収めました。日本からは選手７人が同大会に参加し、村越さんは出場した３種目全てで入賞しました。村越さんは「メダルを獲れるとは思っていなかったのでうれしい。地域の人の声援が励みになりました。次の大会ではもっとスタミナをつけて金メダルを目指したい」と意気込みを話しました。

大地の芸術祭の里で結ばれて

４月20日(日)：まつだい郷土資料館・まつだい農舞台

３組の夫婦の結婚を祝う「ミュージアム婚」が初めて行われ、親族・関係者など約130人が祝福しました。３組とも松代地域在住の新郎と県外出身の新婦で、大地の芸術祭を通じて結ばれました。新郎の高橋清史さんは「大勢の皆さんに祝っていただいた分、それに恥じない良い夫婦仲を築いていきたい」と結婚の喜びを語りました。

熱狂!!バスケットボール青山学院大学VS十日町高校

4月12日(土)：なかさとアリーナ

なかさとアリーナ完成記念スポーツイベントが開催されました。地域内の各種スポーツ団体による体験コーナーが設けられ、子どもたちの明るい声でにぎわいました。午後にはメーンイベントとしてバスケットボール青山学院大学VS十日町高校の試合が行われ、選手たちは約500人の声援にファインプレーで応えていました。

豊かな自然の中で探鳥会

４月26日(土)：松之山

朝５時から定例の松之山探鳥会が開催されました。早い時間にもかかわらず、野鳥愛好家約10人が集まり、残雪のブナ林の中で野鳥の観察を行いました。松之山は野鳥の宝庫として有名で、この日は39種類もの野鳥が観察されました。５月25日には大探鳥会が開催されます。

安心とやすらぎを提供します

4月26日(土)：七川荘やすらぎ

社会福祉法人なかさと福祉会の「地域密着型特別養護老人ホーム七川荘やすらぎ（長期入所29人、短期入所10人）」と、「デイサービスセンターしちかわ」の竣工式が行われました。当施設は従来からある七川荘に併設され、『安心と笑顔をたいせつに信頼される福祉サービスを提供します』を基本理念としています。施設長の太島憲一さんは、「地域に密着した福祉をしていく」と抱負を述べていました。

満開の桜と水芭蕉の共演 野口水ばしょうまつり

４月27日(日)：野口水ばしょう公園

水芭蕉は低地での自然群生は珍しい植物です。同公園では地元保存会による長年の保全活動によって守られていて、地区の憩いの場として愛されています。今年のまつりでは、公園内の桜の開花も重なり、満開の桜と水芭蕉の見事な共演が多くの観客の目を楽しませました。最近では駐車場なども整備され、今後ますます人気スポットとなることが期待されています。（📷金子又市さん）

十日町市の自然～春～

ショウジョウバカマ

豪雪地であるこの地方も、４月の声を聞いて降る雪は終わりを告げ、積もった雪が日に日に減少していきます。雪の下から小川の流れがのぞいてくると、水際の土手にはいろいろな草が芽吹いてきます。

その中にあるショウジョウバカマは多年草で、前年の葉が残っているその中心から新しい芽を伸ばし、つぼみを形成し始めます。芽だしと同時に咲き始め、成長するに従って長く伸び、やがて変色します。その様子は、花らしくもありますが、美少女が老婆に変身するようで他の花々とは異なった成長を遂げます。

ショウジョウバカマを漢字で書けば『猩々袴』と面倒ですが、謡曲という古典芸能に酒好きな猩々という想像上の獣の化身が舞うものがあるそうです。その猩々の赤毛の被り物を想像させ、根を囲んでいる葉を袴に見立てたものかもしれません。花の形や色などから赤飯のおこわを連想してかオコワバナと呼ぶところもあるようです。

茎は中が空洞で長いので、千切り採ってストローにして清水を吸い込んで遊んだりもしたもので、幼年時代の遊び道具の一つでもあり、春の最初の遊び相手で、子どもたちは工夫を重ねたものでした。

遊び方や呼び方はところによって違うものを楽しんだ昔があったのです。

（文：高橋八十八）

若者×若者 キラメキワーカーズ

～語る 仕事・会社・十日町市への思い～

十日町市の仕事人

■問合せ
産業政策課
☎757-3139

樋口　美弥子さん（通り山・31歳）

販売業から製造業に。関連会社から会社設立に併せて入社。生産管理部門で生産計画から出荷までの管理担当者として活躍中。

井川　妙子さん（旭町・33歳）

会社設立と共に入社。高校卒業後、違う分野の製造業に携わっていたが、新たなモノづくりに挑戦したいとの思いで転職し、現在、外観検査などを担当。

やりがいや向上心を持って仕事をしています

樋口さん―責任のある仕事なのでやりがいを感じています。お客様から感謝の声がいただけるのも、お客様の要望を叶えるために、全員が個々に責任をもって取り組んでいるからだと思っています。

井川さん―品質を保ちながら、いかに効率よく正確にこなせるかを心がけています。改善のための提案もしますが、それが達成できたときはうれしいですね。

少人数なので団結力があり、刺激し合える仲です

井川さん―改善は会社の方針でもありますが、組織全体が良くなっていければと思っています。会社としての団結力があり、他の社員も向上心に溢れていますよ。

樋口さん―人数が少ないので、個々に力を発揮しないと成り立ちません。そんな環境だから、お互いに刺激し合える雰囲気になっています。

これからも会社と共に成長していきます。

樋口さん―会社は設立してまだ日が浅いですが、社員一人ひとりにスキルがあるので、まだまだ発展できると思っています。今の業務にとどまらず、さまざまな要望に応え、成長する会社でありたいし、自分自身もその過程で成長していきたいですね。

井川さん―社員同士刺激し合って、一人ひとりが何でもこなせる人材になれればと思います。そして、「この会社に任せれば大丈夫！」という信頼がある会社づくりをしていきたいです。

樋口さん・井川さん―会社設立と共に入社したので、愛着があります。これからも会社と共に成長していきたいです。

協力企業　求人あり

■㈱TMC
・自動機の設計・制作
　精密電子部品製造など
・十日町市四日町新田３
・従業員数14人
・☎761-7791
「働きやすい環境」と「個人の能力が向上できる環境」になるよう取り組んでいます。

GUIDE ～お知らせ・ガイド～

催し・講座

坂口安吾まつりin松之山

坂口安吾ゆかりの村山家旧宅での催しです。

日 5月17日㈯午後1時30分～4時30分
会 大棟山美術博物館
¥ ５００円
内 第1部：朗読、第2部：安吾を語る（テーマ：三千代と松之山）、第3部：語り（演目：紫大納言）
講 坂口綱男さん（坂口安吾の長男、写真家）ほか
申・問 松之山安吾の会（松之山商工会内☎５９６―２１７４）

交通安全フェア

楽しいイベントが盛りだくさんです。

日 5月17日㈯午後1時～午後3時
会 キナーレ
内 ちびっこ白バイ隊制服試着撮影・ダンプカー体験ほか
問 ㈱共和自動車・小林（☎７５２―５５５９）

本町分庁舎ウィンドウギャラリー 駒形光展

日 5月17日㈯～7月18日㈮※照明は午後7時まで
会 本町分庁舎
問 生涯学習課（☎７５７―８９１８）

縄文灯火づくりワークショップ

じょうもん市の夜祭りで灯す「縄文灯火」を作ります。

日 5月18日㈰午後1時30分～4時
会 笹山縄文館（笹山遺跡）
講 堀川紀夫さん（大地の芸術祭アーティスト）
持 粘土を造形するための道具・汚れてもいい服装
申・問 中条公民館（☎・Ｆ７５２―２７４８）

記念講演会 出会い、ご縁の人生 ～出会い一瞬・ご縁一生～

講師の人生観や経験を話します。

日 5月20日㈫午後2時30分～4時
会 本町分庁舎
定 30人
講 西方勝一郎さん（㈱根茂レース代表取締役社長）
他 平成26年度新会員募集中
申・問 市消費者協会事務局（産業政策課商工振興係内☎７５７―３１３９）

環境講演会 紙おむつのゴミを「地球を救う燃料」へ！

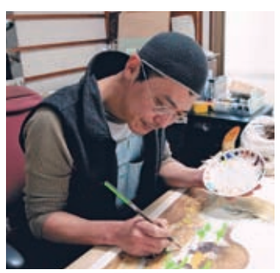
日 5月22日㈭午後6時30分～8時
会 情報館
定 １００人
講 木村幸弘さん（㈱スーパー！

ギャラリートーク「ギフチョウと雪里の自然」とギフチョウ観察会

現在開催中の企画展『舘野鴻（たての ひろし）絵本原画展「ぎふちょう」の世界』に合わせて、ギャラリートークとギフチョウ観察会を開催します。舘野さん（絵本作家・神奈川県秦野市）と畑田彩さん（ギフチョウ研究者・京都外国語大学准教授）のトークを楽しんだ後、キョロロの森でギフチョウを観察してみましょう。

※このイベントは国際博物館の日（5月18日）の記念事業です

日 5月17日㈯ギャラリートーク：午前11時～正午、ギフチョウ観察会：午後１時30分～３時
¥ 入館料のみ（500円、小・中・高生300円※市内小・中学生・友の会会員は無料）
※ギフチョウ観察会のみの参加は入館料も不要
定 30人
会・問 「森の学校」キョロロ（☎595-8311）



舘野鴻さん

畑田彩さん

フェイズ代表取締役社長）
問環境衛生課環境企画係（☎752―3924）

森のオカリナコンサート ～懐かしき木陰～

新緑の中での野外コンサートをお楽しみください。
日5月24日㈯午後2時～
●出演＝五十嵐正子さん（オカリーナ）・阿部国男さん（ベース）・水落哉子さん（ピアノ）
●演目＝「オンブラ・マイ・フ」、「風のふるさと」、「人生のメリーゴーランド」ほか
¥500円（美術館入館料込み）、中学生以下無料（入館料別）※当日のみ販売
他大雨のときは中止
会・問星と森の詩美術館（☎752―7202）

神社コンサート ～自然の中で音楽を満喫～

弦楽器四重奏の演奏です。
日5月24日㈯午後5時～6時30分
会小出区神社
¥1500円、小・中学生500円※小学生未満無料
問市観光協会中里支部（☎763―3168）

新緑に包まれ 松之山大探鳥会

野鳥の宝庫松之山で、アカショウビンに出会えるかもしれません。
【野鳥集会】
日5月24日㈯午後7時～9時
会松之山温泉センター「鷹の湯」
内大探鳥会の事前学習、渡辺央県野鳥愛護会会長の講演
【大探鳥会】
日5月25日㈰午前4時30分～7時30分
会「森の学校」キョロロ駐車場（集合）
問市観光協会松之山支部（☎596―3011）

山菜講習会in大厳寺高原

山菜採りの後、鑑定や山菜採りのマナーや料理方法などを学習します。お昼はレストハウス希望館で山菜バイキングを楽しみます。
日5月25日㈰午前8時30分～午後1時30分
会大厳寺高原
¥2500円、小・中学生1500円
定先着50人
〆5月23日㈮午後5時
申・問市観光協会松之山支部（☎596―3011）

第3回「古民家で花展」 野の花と遊ぶ

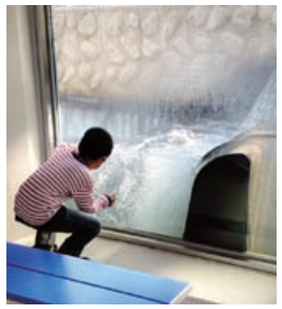
日5月31日㈯・6月1日㈰午前10時～午後4時
会奴奈川姫の家（松代室野診療所隣）
¥無料※抹茶のサービスあり
問野の花を活ける会・岩田（☎752―3036）

応急手当講習会

日6月9日㈪午後7時～9時
内救命入門コースⅡ（心肺蘇生法・AEDの取り扱い・異物除去・止血法）
申・問十日町地域消防本部（☎757―1551）またはホームページ（http://www.tokamachi-kouiki.jp/）

JR宮中取水ダム魚道観察室 遡上する魚を観察できます

一般公開しています。
日11月20日㈭までの午前10時～午後4時※荒天時や河川の増水時には閉鎖することがあります
問JR信濃川発電所（☎0258―82―2702）



ブナの森 美人林コンサート 新緑でのクラシックコンサートが10年ぶりに復活

弦楽の優雅な音色が響き渡り、美人林がコンサートホールになります。新緑に包まれながら、ＮＨＫ交響楽団による美しい演奏と歌をお楽しみください。

日6月1日㈰午後2時～
※開場1時30分
会美人林（松口）
※雨天時は松之山体育館
¥3,000円（当日3,500円）、高校生以下2,000円（当日2,500円）
※未就学児は入場不可
申・問ブナの森美人林コンサート実行委員会事務局
（☎596-3137※専用電話、受付：平日午前8時30分～午後5時）
またはホームページ（http://www.matsunoyama.com/concert/）

募集

着物などを譲ってください

「きものの街のキルト展」で活用するため、不要になった着物や半端布（正絹・綿のみ）を譲ってください。※返却できません
〆5月30日㈮
申・問きものの街のキルト展実行委員会（市観光協会内☎757―3345）

2014きものの街のキルトコンテスト作品募集

●部門＝和布部門・フリー部門
●応募資格＝特になし※個人・グループとも可
●応募規定＝和布部門：「和」の布を半分以上使用しているもの、作品は1辺2・2メートル角以内のタペストリー、フリー部門：使用する布の制限なし※出展数は2作品以内、いずれも未発表の作品に限る
●参加費＝作品1点につき2千円※保険料など
●受付期間＝7月15日㈫～25日㈮※必着
問・作品送付＝〒948―0082本町2本町分庁舎きものの街のキルト展実行委員会事務局（市観光協会内☎757―3345）

市人権教育・啓発基本計画策定委員募集

欠員補充のための委員を追加募集します。
●募集人員＝1人
●委嘱期間＝基本計画策定まで※26年度中を予定
●応募資格＝市内に住所を有する20歳以上の人で、人権教育・啓発の推進に関心があり、年3回程度の会議に出席できる人※会議は平日昼間を予定
●選考方法＝書類選考
●報酬＝委員会1回につき5000円
〆5月30日㈮
申・問所定の用紙（市民生活課・各支所に配置）に氏名・性別・生年月日・住所・郵

参加者募集 緑のカーテンコンテスト

地球温暖化対策に有効な「緑のカーテン」のコンテストです。写真で審査し、各部門の優秀賞を表彰します。

対個人の部：市内に居住する個人
団体の部：市内の事業所・団体・学校など
●条件＝個人の部：3メートル以上
団体の部：6メートル以上
定個人・団体各20組
他種苗などの材料は各自で負担してください
〆6月30日㈪
申・問環境衛生課環境企画係（エコクリーンセンター内☎752-3924）

参加者追加募集 「まちなかステージづくり」ワークショップ ～あなたのアイデアでまちなかのにぎわいをつくりましょう～

まちなか（中心市街地）やそこにある施設に必要な「機能・運営主体や体制」について、使い手である市民・団体の皆さん自らのアイデアや意見を出し合うワークショップを開催します。「活動する人を増やす」ことを実現して、中心市街地活性化につなげるための拠点施設である「市民活動センター・まちなか公民館」・「市民交流センター」の整備が中心になります。ぜひ参加しませんか。
対まちなかで「こんなことをしてみたい」「こんなことができる」など、「まちなかから市全体を元気にしたい」という気持ちや興味を持っている人なら誰でも（住居・年齢・性別など不問）
定先着約20人
申・問申込用紙（市役所本庁・本町分庁舎・各支所・中央公民館・情報館などに配置、市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、ＦＡＸまたは電子メール（t-machistage@studio-l.org）で、中心市街地活性化推進室（☎757-3691・F752-4635）

便番号・電話番号・職業・応募の動機を記入し、市民生活課市民年金係（☎757―3116）

平成26年6月入校生募集 事務エキスパート科1期

日6月24日㈫～11月21日㈮平日午前9時20分～午後3時50分
会スリーエスITトレーニングセンター（伊達3）
¥無料※テキスト代・受験料など自己負担あり
対OAの基礎から応用へと学び、就職を希望する人
定定員20人
〆5月28日㈬
申ハローワーク十日町
問県立魚沼テクノスクール（☎025―794―2410）

信濃川河川愛護モニター募集

●募集人員＝若干名
●応募資格＝満20歳以上※他にも要件あり
●業務内容＝河川愛護活動や地域情報などを報告
●任期＝7月1日から1年間
●手当＝月額4580円
〆6月2日㈪
申・問はがきまたはFAXに住所・氏名・年齢・性別・電話番号、「河川愛護モニター応募用紙希望」を記入し、〒940―0098長岡市信濃1―5―30信濃川河川事務所専用調整課「河川愛護モニター募集」係（☎0258―32―3268・F0258―34―9040）

福祉・健康

参加者募集 新潟県いきいき人生 よい歯のコンクール

自分の歯で食べ、健康な生活を送る高齢者の「よい歯のコンクール」を行います。5月21日㈬に十日町保健センター（市役所隣）で歯科健診を行い、県に推薦する人を選出します。

●条件
・4月1日現在で満80歳以上
・親知らずを除く歯の本数が20本以上
・治療していない虫歯が5本以下
・ぐらぐらする歯がないなど歯周病が重症でない
〆5月20日㈫
申・問健康支援課母子保健係（☎757―9759）

スポーツ

参加者募集 市民体力テスト

健康維持や体力増進のため、体力年齢を確認しませんか。

日5月27日㈫午後7時30分
会市総合体育館
対市内在住・在勤の20～79歳
内20～64歳：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20メートルシャトルラン・立ち幅跳び
65～79歳：握力・上体起こし・長座体前屈・開眼片足立ち・10メートル障害物歩行・6分間歩行
持運動のできる服装・室内履き・タオル
問スポーツ振興課（☎756―5013）

参加者募集 ボールガール・エスコートキッズ、サッカークリニック

詳細は、市サッカー協会事務局ホームページ（http://www.tokamachi-soccer.com）で確認してください。

日5月31日㈯
●募集内容＝なでしこリーグ「アルビレックス新潟L対FC吉備国際大学Charme」の試合時のボールガール・エスコートキッズ、試合前に行われるサッカークリニック参加者
他当日開催の試合のチケットは市総合体育館でも販売
問㈲若井山総合保険サービス（☎750―5535※受付：平日午前10時～午後5時）・スポーツ振興課（☎756―5013）

市民登山 当間山山開き

新緑の山を登りませんか。

日6月1日㈰午前8時30分
会当間山※当間ヘリポート集合、現地までの送迎可
対市内在住の人
¥千円、中学生以下500円
持雨具・帽子・タオル・着替え・昼食・飲料水・行動食・お椀
他軽登山靴・地下足袋・ゴム長靴・長袖シャツ・長ズボンなど、登山に適した服装で参加してください
〆5月25日㈰
問申込書（市総合体育館に配置）に参加費を添えて市総合体育館（☎752―4377）

第10回 市長杯ファミリーゴルフ大会

日6月7日㈯午前7時30分～
会ナカゴグリーンパーク
¥4千円（プレー代・軽食代込み）
定先着50人
問参加費を添えてサンパレスナカゴ（☎768―4419）
申・問参加申込書（市総合体育館に配置）に参加費を添えて市総合体育館（☎752―4377）
〆6月1日㈰

くらし・相談

自動車税の納期限は6月2日㈪です

自動車税は、金融機関やコンビニエンスストア、地域振興局県税部窓口で納付できます。また、インターネットを利用してクレジットカードで納めることもできます。納税通知書が届いたら早めに納付しましょう。

問南魚沼地域振興局県税部（十日町収税課☎757―5513）

軽自動車税が減免されます

一定の条件に該当するときに軽自動車税を減免します。

●申請期間＝5月16日㈮～26日㈪
●減免の対象となる車両
・車検証上の名義人に係る要件が次のいずれかに該当する自動車
①身体障がい者、戦傷病者が所有者または使用者である
②知的障がい者、精神障がい者、18歳未満の身体障がい者と生計を共にする人が、所有者または使用者であり、障がい者のために利用している
※障がいの区分・等級が対象の範囲内であることが条件です。本人運転と家族運転では範囲が異なります。詳細は問い合わせてください
※減免の対象となる車両は、身体障がい者など1人に対して1台に限られます
・構造が専ら身体障がい者などの利用に供するための軽自動車
●申請に必要なもの
・身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳のいずれか
・運転免許証・印鑑・軽自動車税納税通知書（5月15日発送予定）
申・問税務課市民税係（☎757―3716）

【市報おわびと訂正】
市報4月25日号18ページ「5月のちびっこひろば」に掲載の、すこやかランドの開催日が7日㈬とありましたが、正しくは14日㈬でした。お詫びして訂正します。

検診でがんを早期発見しましょう ～平成26年度 がん検診のお知らせ～

市では、特定の年齢の人にがん検診を無料で実施しています。この機会に、ぜひ検診を受けましょう。
問健康支援課成人保健係（☎757-9764）・各支所市民課市民係

無料クーポン券でがん検診を受けましょう

5月中旬に、子宮頸がん・乳がん・大腸がんの無料クーポン券と検診手帳を郵送します。※詳しくはクーポン券郵送時の案内をご覧ください

●クーポン対象者

4月20日現在で市内に住所を有する次の人
・**子宮頸がん検診**：20歳の女性
・**乳がん検診**：40歳の女性
・**大腸がん検診**：40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の男女
※4月1日現在の年齢

●クーポンの対象となる検診

市が26年度に実施する上記の検診です。
※人間ドック・職場検診・医療機関での個別受診には使えません

●既に市の検診を申し込んである人

検診当日までにクーポン券が届いているときは、受診票と共に検診会場に持参してください。

●これから受診を希望する人

クーポン券に同封する検診申込書を返送してください。

40歳の人は、無料で胃がん検診が受けられます

●対象者

受診当日に市内に住所を有する40歳の人
※昭和48年4月2日～昭和49年4月1日生まれ

●これから受診を希望する人

上記問合せ先まで連絡してください。

●既に市の検診を申し込んである人

無料で受診できます。受診票を持って直接検診会場においでください。
※無料クーポン券は配布しません

バンド練習に限らず、集まる場と時間をつくって、懇親を深めます。ゆったりとまったりと同じ時間を過ごし、お互いの信頼関係をつくっていきます。

浦田パワー全開！松之山芸能祭で練習の成果を披露しました。これからも発表の場を増やしていく予定です。

バンド練習には、いつもメンバーの約半数が集まり、お互いの近況を話し合う時間になっています。

facebook ページ　https://www.facebook.com/uradaYA?fref=ts

ハババンド

気軽な活動に地域への思いを込めて

松之山で唯一の青年団「浦田地区青年団」が基になって結成された「ハババンド」。誰でもいつでも参加自由な、仲間づくりのためのバンドです。地域の支援者とも程よい距離感でしっかりとつながっています。松之山地域に、立ち上がった若者たちによる新しい風が吹いています。

◆問合せ：竹内圭介☎090―4599―5839

「普段の青年団の活動とは違う、単純にもっと楽しめて、気軽に集まれることをやりたいとの思いから始まりました」と団長の竹内圭介さん（浦田・34才）は話します。バンド名は、村山二三一さん（屋号：ハバ）の作業所で開かれている、お酒を飲みながら懇親を深める場「ハババー」で結成されたことから名付けられました。

平成24年12月から活動を始め、現在メンバーは9人。「持ち歌は、りんご追分をアレンジした「Ringo」1曲のみですが、ボーカルあり、楽器ありと自由なスタイルで楽しんでいます」と竹内さん。浦田のお母さんたちと一緒にまつだい冬の陣に屋台を出店したり、オーストラリアハウスのイベントや松之山スキーカーニバルに参加したりするなど、徐々に活動が活発になっています。今年は「ひまわり畑計画」も進行中です。

「力まず、あせらず、さらに若い世代へ浦田の未来をバトンタッチすることを考えていきたい」と、地域に思いを込めた活動を目指します。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ　☎761―7444

元気なお年寄りを紹介し、健康の秘けつなどをうかがいます。

和顔愛語（わがんあいご）
～はつらつ おばあちゃん～ 22

水落 トメさん（上新田３・99歳）

６月で100歳を迎えるトメさん。身の回りのことを自分でするのはもちろん、天気の良い日は家の周りの草取りもしています。健康のもとは家族の仲がいいこと。たくさんの孫やひ孫にも恵まれ、８月には玄孫が生まれる予定です。「今がとても幸せだし、これからも一日一日大事に生きていきたい」と話し、家族が増えることを楽しみにしています。

わが家のイクメン★カジダン 25

「イクメン」とは育児を楽しんでいるメンズ（男性）、「カジダン」とは家事に積極的な男性のことです。そんな我が家自慢のイクメン・カジダンを紹介します。

わが家の **お父さん：野上 哲也さん（高島・36歳）**

我が家のイクメン☆カジダン募集中！育児や家事に取り組んでいる写真と紹介文をお寄せください。
申込み・問合せは企画政策課広報広聴係☎757-3112

ゴミ出しや保育園の送り迎えはお父さんの日課で、とっても助かっています。いつも気遣ってもらっているのでうれしいです。

お父さんと一緒に自転車に乗るのが大好きです。

子どものやりたいことをできるだけ一緒に楽しむようにしています。家事は、妻が疲れているときは、なるべくしてあげることと、最低限自分のことは自分でやるように心掛けています。

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町３丁目３番地
E-mail koho@city.tokamachi.lg.jp URL http://www.city.tokamachi.lg.jp/ TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
■編集/企画政策課広報広聴係

ジュニア芸術祭

西小学校
107

おひさまにこにこ

大久保匠悟（しょうご）さん（1年）

赤い大きなたいようは、お父さんです。まわりの小さなたいようは子どもたちです。赤ちゃん、ぼく、ともだちもいます。みんなたのしくあそんでいます。

なかよしのさかなたち

尾身　成陽（なるひ）さん（2年）

左の大きな魚がアオザメで、右の少し大きな魚がサメです。アオザメの左をおよいでいるのは自分です。みんな、なかよくお話をしています。

かさこじぞう

吉澤　春翔（はると）さん（3年）

本当の雪みたいにかくことと、冬なので草や木を茶色にしたところをくふうしました。野さいがのったそりをおじさんが引くところがすごいと思ったからえらびました。

カブトムシをつかまえろ

徳永　誉（ほまれ）さん（4年）

ぼくと友達がカブトムシをつかまえようとしているところです。カブトムシの体をよく見て描き、羽や顔の描き方を工夫をしました。

初めての魚つり

冨田　優衣（ゆい）さん（5年）

いろいろな色を混ぜてみたり、濃さを変えたりしながら、水や地面の色を塗りました。魚を釣った私や周りの人の顔の表情も工夫しました。

鳥が舞う　夢の世界

清水　生成（きな）さん（6年）

家や車を立体的にかくのをがんばりました。鳥たちが窓から子どもたちをやさしく見つめている様子を表現しました。